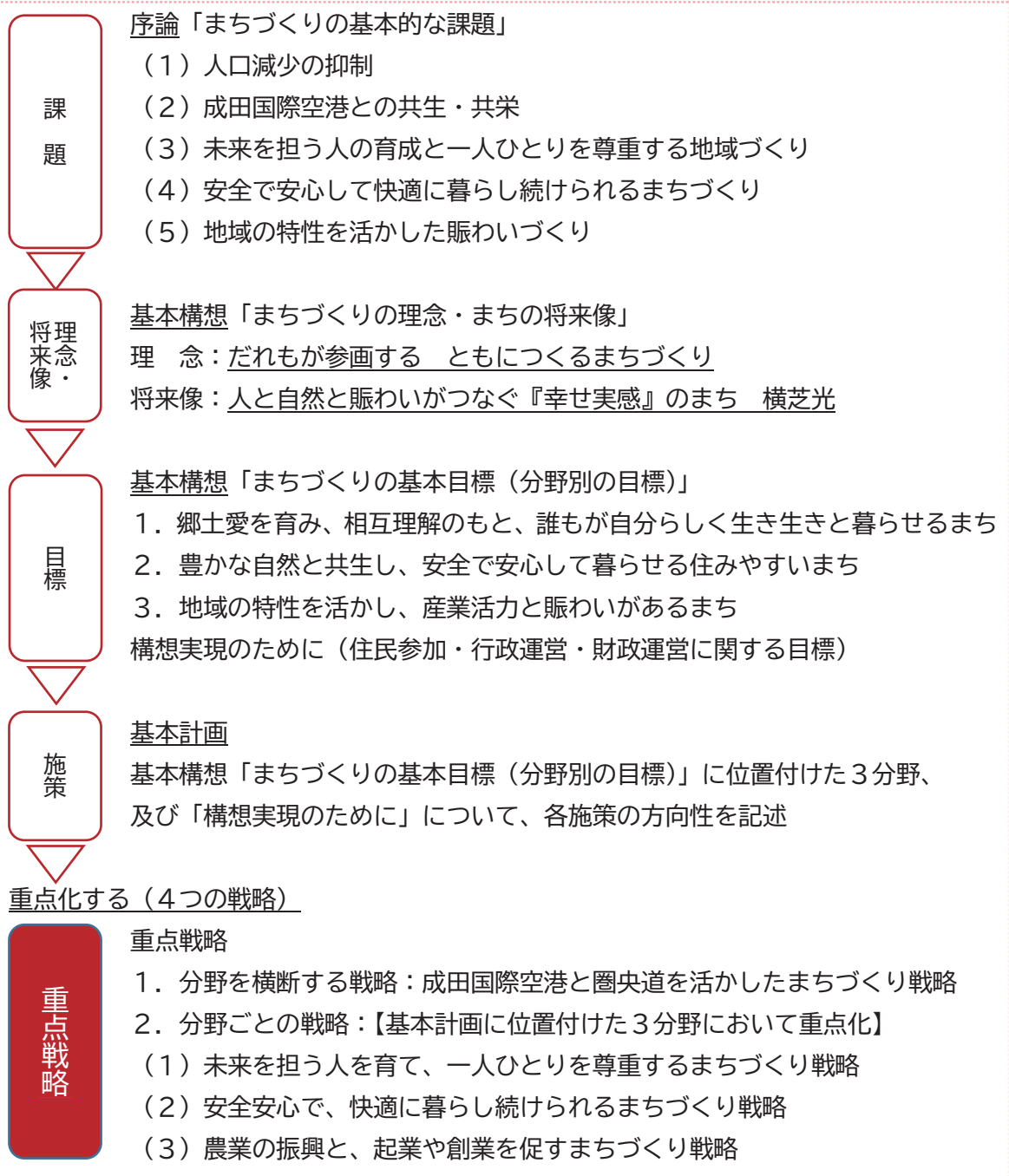


重点戦略

1. 重点戦略の位置づけ

重点戦略は、基本構想に掲げた将来像の実現を目指して、重点的に推進する事柄です。

《序論・基本構想・基本計画との関係性》



2. 分野を横断する戦略

分野を横断する戦略では、本町にとって最も重要な分野横断的に取り組むべき戦略として、「成田国際空港と圏央道を活かしたまちづくり」を位置付けます。

成田国際空港と圏央道を活かしたまちづくり戦略

国勢調査によると、本町の総人口は、平成7年（1995年）をピークに緩やかに減少し、令和2年（2020年）には22,075人となっています。国の推計によれば、本町の総人口は、今後も減少を続けて令和32年（2050年）には13,385人まで減少し、より一層の少子高齢化が進むものとされています。

他方、本町は、日本の主要な空の玄関口である成田国際空港に近接し、その更なる機能強化を機会とした地域活性化が期待されています。また、本町は、銚子連絡道路、国道126号など広域的な幹線道路により各地と結ばれているだけでなく、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）大栄JCT～松尾横芝IC間の整備により、広域的な交通利便性がますます高まるものと期待されています。

このようなことから、成田国際空港の更なる機能強化と圏央道大栄JCT～松尾横芝IC間開通の効果の最大化を図るため分野横断的な戦略に取り組みます。

《成田国際空港と圏央道に期待する効果》

- 若者の定住
- 広域交通網形成による交通利便性の向上
- 成田国際空港への交通利便性の向上
- 住宅、居住地の整備
- 航空機騒音対策等による生活環境の保全
- 町農産品の流通促進
- 観光客の増加
- 地元企業の成長
- 企業進出
- 雇用の創出
- 移住・定住の増加
- 情報発信の強化

《関連する施策》

第1章	1. こども・若者支援	施策5	若者への支援
第2章	1. 市街地整備	施策2	住みやすくコンパクトなまちづくりの推進
	2. 道路	施策3	広域交通ネットワークの整備促進
	3. 公共交通	施策1	公共交通の利便性向上
	4. 住宅環境	施策1	適正な宅地開発・住宅建築の促進
	6. 生活環境	施策4	航空機騒音対策の拡充
	第3章	1. 農林水産業	施策2
2. 観光		施策2	観光資源の活用・開発
3. 商工業		施策1	商業の振興
		施策2	工業の振興
4. 産業活性化		施策1	企業立地の促進
		施策3	就業・雇用の促進
		施策1	移住・定住への支援
5. 交流・移住・定住		施策1	移住・定住への支援
		施策2	積極的な町の魅力発信

3. 分野ごとの戦略

分野ごとの戦略では、各章において重点的に取り組むべき戦略を示します。

(1) 未来を担う人を育て、一人ひとりを尊重するまちづくり戦略

第1章では、「未来を担う人を育て、一人ひとりを尊重するまちづくり」を重点戦略に位置付けます。

わが国の2024年(令和6年)出生数は約72万人であり、過去最少の数となっています。国は、“こどもまんなか社会”の実現を掲げ、政策を推進しています。

本町においても少子化が進行しており、近年では、出生数が100人を割り込む状況が続いています。本町で育った人たちが、これからも自分らしく暮らし、地域とつながりを持って活躍し続けていくための未来を担う人を育てていくことが重要です。

また、町民一人ひとりが自分らしく活躍でき、地域で幸せに暮らしていくには、一人ひとりを尊重するまちづくりが必要です。

このため、確かな学力を基礎とした能力の向上を図るとともに、学校・家庭・地域・関連機関の連携のもと地域全体で子育てを支援し、自己肯定感を持ち続けた子どもたちを教え育てる環境の充実を図ります。また、多様性を理解し、地域や様々なつながりを持ち、誰もが担い手となって活躍できる環境づくりに重点的に取り組んでいきます。

①未来を担う人づくり

《関連する施策》

第1章	1. こども・若者支援	施策1	子育て支援体制の充実
		施策4	こどもへの支援
	8. 学校教育	施策1	教育内容の充実
	9. 青少年育成	施策1	青少年の活躍促進

②一人ひとりを尊重する地域づくり

《関連する施策》

第1章	4. 地域福祉	施策1	地域共助の意識の醸成
		施策2	地域福祉体制の充実
	15. コミュニティ	施策1	地域活動の維持・活性化
		施策2	自主的な活動の創出支援

(2) 安全安心で、快適に暮らし続けられるまちづくり戦略

第2章では、「安全安心で、快適に暮らし続けられるまちづくり」を重点戦略に位置付けます。

わが国では、地震災害、風水害といった自然災害が頻発化し、また、インターネットを利用した犯罪や特殊詐欺等が増加しており、子どもや高齢者が被害者となる痛ましい事件や事故が発生しています。

本町においても、災害に強く、犯罪が起きにくい安心安全なまちづくりが求められています。さらに、本町では、恵まれた自然環境の中、JR 横芝駅周辺や幹線道路沿いなどに市街地、居住地が形成されてきました。今後は成田国際空港の更なる機能強化や圏央道の整備等を見据えた快適に暮らし続けられるまちづくりを目指していく必要があります。

このようなことから、防災体制の充実を図るとともに、住民による自助・共助を基礎とした地域防災力と防犯力の向上や地域における交通安全に努め、安全安心なまちづくりに取り組みます。また、銚子連絡道路横芝光 IC 周辺や JR 横芝駅周辺、横芝海のこどもの国跡地周辺の拠点整備により、人々が集う場づくりを進めていきます。

①安全安心なまちづくり

《関連する施策》

第2章	10. 防災	施策1	地域防災体制の強化
	11. 消防・救急	施策1	消防機能の向上
	12. 防犯・交通安全	施策1	防犯対策の強化
		施策2	交通安全対策の強化

②快適に暮らし続けられるまちづくり

《関連する施策》

第2章	1. 市街地整備	施策1	拠点地域の都市機能の拡充
-----	----------	-----	--------------

(3) 農業の振興と、起業や創業を促すまちづくり戦略

第3章では、「農業の振興と、起業や創業を促すまちづくり」を重点戦略に位置付けます。

わが国の農林水産業をめぐり、近年では、ブランド化や ICT を活用したスマート農業など、高付加価値化と収益性向上に向けた取組が全国的に進められています。「地方創生2.0」基本構想においては、デジタル技術の活用などを促しつつ、自然・農林水産物等の地域のポテンシャルを最大限に活かし、多様な主体等の連携によって付加価値を生み出す方向性を示しています。

本町は、農業に適した自然条件に恵まれた地域であり、農業が重要な産業となっています。しかしながら、担い手の高齢化と後継者不足、遊休農地の増加など、農業をめぐる環境は依然として厳しいものがあります。農地の集積や担い手の育成などに努めていくとともに、収益性の高い農業を展開し農業の振興を図っていくことが必要です。

また、人口減少と少子高齢化が進む中、地域経済全体の維持・活性化が大きな課題になっています。本町では、圏央道の整備などによる広域交通の利便性向上が見込まれており、産業立地に適した条件のもとにあります。賑わいの創出には起業・創業を促進していく必要があります。

このようなことから、農業に係る担い手対策や商工業・観光との連携、PR 活動などに取り組めます。また、千葉県や横芝光町商工会などとの連携を図りながら起業や創業を支援するとともに、雇用や就労の機会の創出に取り組んでいきます。

①農業振興によるまちづくり

《関連する施策》

第3章 1. 農林水産業	施策1 生産振興と経営支援
	施策2 特産品の PR と消費の拡大

②起業・創業を促すまちづくり

《関連する施策》

第3章 4. 産業活性化	施策2 新たな事業展開や起業の促進
	施策3 就業・雇用の促進